

## 令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立沼津特別支援学校 伊豆田方分校 P T A	
学 校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input type="checkbox"/> 小学部 <input type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	37人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	サウンドブロック
使用学年及び人数	高等部1～3年生 37人
使用頻度	週1回程度
使用状況	主に、学部で行う音楽の授業や部活動(総合文化部)で使用している。
物品の使用による変化や効果	音楽の授業では、トーンチャイムの伴奏に、サウンドブロックで旋律を弾き、合わせて演奏をした。サウンドブロックは必要な音だけを取り出せるので、生徒は自信を持って旋律を演奏することができた。また、トーンチャイムとサウンドブロックの音色が合わせると綺麗で、生徒たちはその心地良いハーモニーに耳を傾けていた。
今後の活用の見通しや課題	1年目はトーンチャイムと合わせて演奏することが多かったため、今後は他の楽器と合わせた演奏にも取り組みたい。また、創作の活動はまだできていないため、サウンドブロックを使った創作にも挑戦したい。生徒たちは、タブレットを使った創作の経験があるので、その経験をもとに、サウンドブロックを使った創作にも自信を持って取り組めるようにしたい。
その他 希望や所感など	サウンドブロックは必要な音を取り出すことができるので、演奏に苦手意識がある生徒も、演奏しやすい。多くの生徒が演奏する楽しさを体験できるよう、サウンドブロックを活用していきたい。

## 2. 活用の様子

【サウンドブロックとトーンチャイムでの演奏の様子】

